

令和 7 年国勢調査 人口等基本集計結果（概要）について

令和 7 年 10 月 1 日を調査期日として実施されました国勢調査の人口等基本集計結果について、令和 8 年 9 月 29 日に総務省統計局が公表しましたので、小樽市分の概要についてお知らせいたします。

○総人口：100,269 人（第 1 表及び参考表参照）

総人口は 100,269 人で、前回調査の令和 2 年に比べ 11,030 人、9.91%減少し、道内 9 位となりました。（令和 2 年と同順位）

○世帯数：49,187 世帯、1 世帯当たりの人員 2.04 人（第 2 表参照）

世帯数は、49,187 世帯で、令和 2 年に比べ 3,630 世帯、6.87%減少しました。また 1 世帯当たりの人員は、2.04 人で令和 2 年の 2.11 人から 0.07 人減少しました。

○男女別人口：男性 45,225 人、女性 55,044 人（第 2 表参照）

人口を男女別にみると、男性が 45,225 人、女性が 55,044 人で女性が 9,819 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、令和 2 年の 82.0 から 82.2 に上昇しました。

○年齢別人口：年少人口 7,327 人、生産年齢人口 50,393 人、老年人口 42,360 人（第 3 表参照）

人口を年齢別にみると、15 歳未満の年少人口は 7,327 人（総人口の 7.3%）、15～64 歳の生産年齢人口は 50,393 人（同 50.4%）、65 歳以上の老年人口は 42,360 人（同 42.3%）となりました。これを令和 2 年の構成比と比べると、それぞれ、1.0 ポイント低下、0.1 ポイント低下、1.1 ポイント上昇しました。

○配偶関係：有配偶率（男性）57.1%、（女性）46.2%（第 4 表参照）

15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 57.1%、女性が 46.2%、未婚率は男性が 32.7%、女性が 24.0%となりました。

○一般世帯数：48,894 世帯、1 世帯当たりの人員 1.94 人（第 5 表参照）

「施設等の世帯」を除いた「一般世帯」数は、48,894 世帯で、令和 2 年に比べ 3,721 世帯、7.1%減少しました。また、1 世帯当たりの人員は、1.94 人で令和 2 年の 2.02 人から 0.08 人減少しました。また、一般世帯のうち単身世帯が 20,513 世帯と最も多くなりました。

注)一般世帯とは、「施設等の世帯」以外の世帯のことで、「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などからなる世帯をいいます。

○家族類型別一般世帯数：核家族は一般世帯の 52.9%（第 6 表参照）

世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 25,867 世帯（一般世帯の 52.9%）で、このうち夫婦のみの世帯は 12,013 世帯（同 24.6%）、夫婦と子供から成る世帯は 8,512 世帯（同 17.4%）となりました。

○高齢者世帯：高齢単身世帯は 11,282 世帯（第 6 表参照）

65 歳以上世帯員がいる一般世帯は 27,446 世帯（一般世帯の 56.1%）で、このうち高齢単身世帯は 11,282 世帯（一般世帯の 23.1%）、高齢夫婦世帯は 8,075 世帯（同 16.5%）となりました。

注)高齢単身世帯とは、65 歳以上の人一人のみの一般世帯をいいます。また、高齢夫婦世帯とは、夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦 1 組のみの一般世帯をいいます。

○外国人人口：1,090 人（第 7 表参照）

市内に在住する外国人は 1,090 人で、令和 2 年の 552 人から 538 人、97.5%増加しました。